



荒川中だより

青い雲

教育目標「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和6年度 第7号
令和6年10月11日発行
村上市立荒川中学校

震災からの復興を目指す能登半島に、記録的な豪雨が襲いました。被害に遭われた皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、ご家族や大切な方々を亡くされた皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。

災害支援活動として、荒川中PTAが古タオルの寄付を募り、9月27日に集まった段ボール2箱分のタオルを復旧支援物資として発送いたしました。また、荒川中生徒会も、アルミ缶回収の収益金を、義援金として役立ててもらうことを検討しております。

被災地の一日も早い、復旧・復興を心よりお祈りいたします。



「生徒玄関に設置した回収箱」

地域とともにある荒川中学校

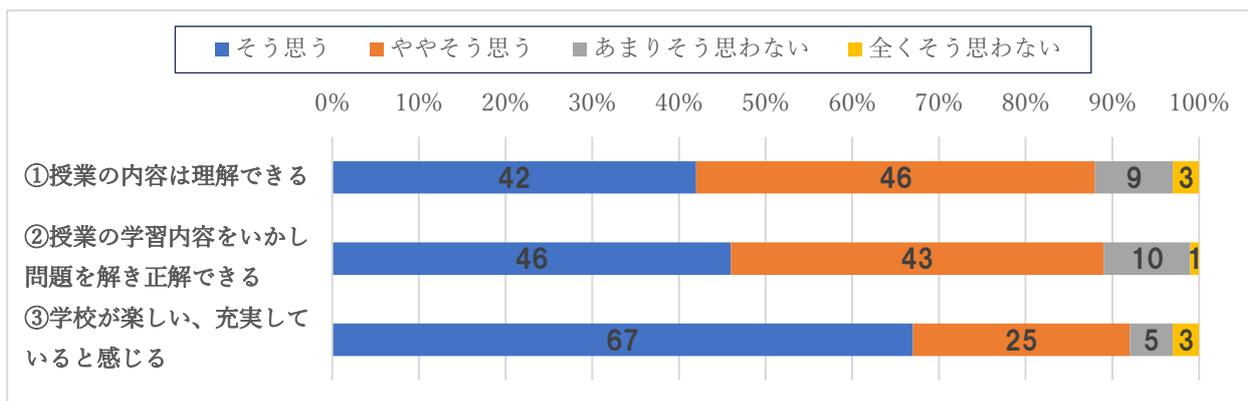
今年度、「笑顔と希望にあふれる荒川中」を目指して、学校づくりを行ってきました。その際に、生徒や保護者・地域の皆様の立場で思い描いた「笑顔と希望にあふれる学校像」は、次のような姿でした。

- 「学ぶ、つながる、挑戦する」楽しさや喜び、心や体の成長が実感できる学校
- 保護者や地域から信頼、応援され、地域とともに歩む学校

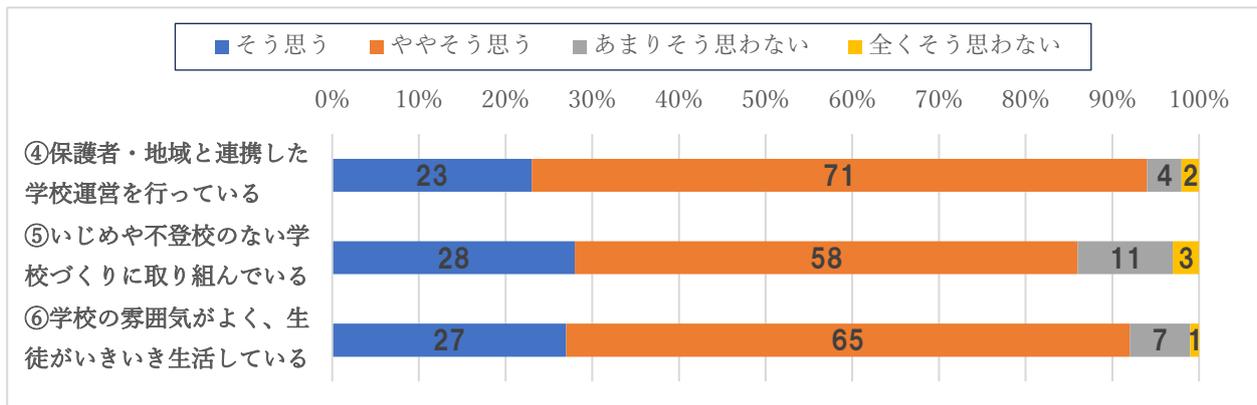
その実現に向けて、知・徳・体の各分野で重点的に取り組む内容を決めて、実践して参りました。そして、7月末に実施した職員の自己評価とともに、生徒や保護者のアンケートや学校関係者の皆様の意見や要望を把握した上で、2学期に向けた改善の方策を取りまとめました。自己評価やアンケート結果と併せて、お知らせいたします。

目指す学校像について

生徒アンケート①②から、「授業内容を理解し、問題も解ける」ことに対する生徒の肯定的評価の割合は、80%後半です。また、③より90%以上の生徒が楽しさや充実感を実感しています。



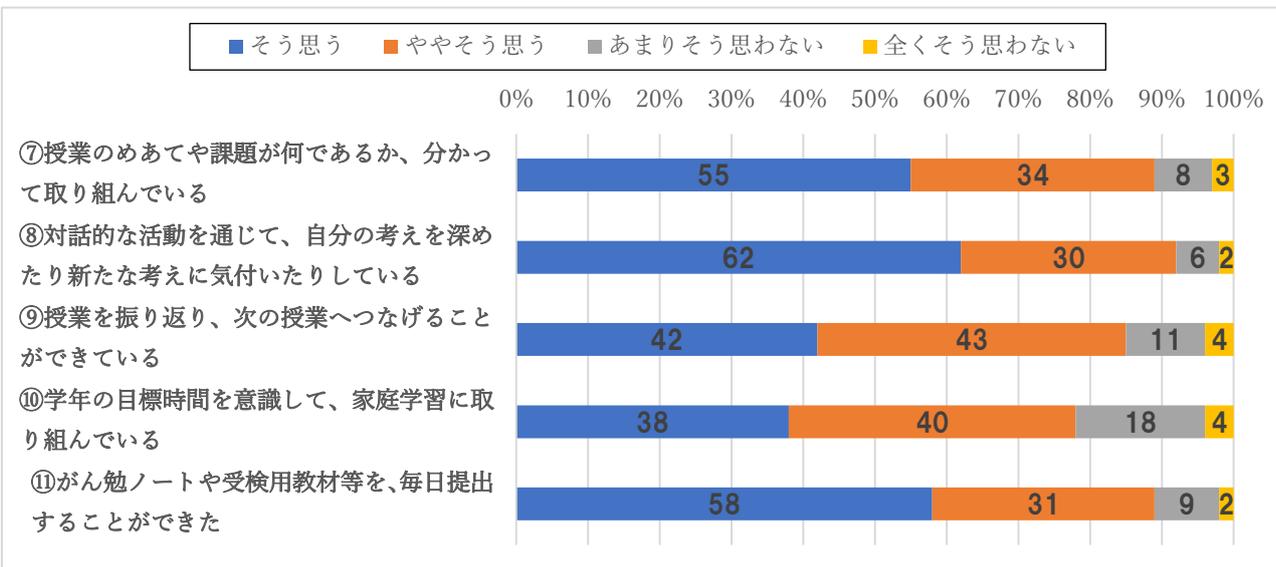
保護者アンケート④～⑥から、保護者の皆様から「学校への信頼」や「保護者・地域との連携」に対する肯定的評価の割合が、80 後半から 90%前半です。



2学期も、生徒や保護者との信頼関係を大切にしながら、運営活動や教育活動を展開してまいります。また、生徒が考えてねばり強く取り組む姿や、努力・成長に光を当てたメッセージを伝え、価値付けることに軸足を置き、生徒の挑戦し続ける心の涵養に努めます。

知の分野について

生徒アンケート⑦～⑨は、教員が授業づくりで大切にしている内容でもあります。⑦⑧に比べて⑨が低い状況となっています。夏期休業中と2学期に授業づくりの研修会を実施し、一層の授業改善に努めます。また、まとめや発表において、ICTの活用をする場面を取り入れたり増やしたりしていきます。⑩⑪の結果から、終学活で、家庭学習のプランニングを確実な実施と見とりで取組を称賛しながら、家庭学習の充実と習慣化を図ります。

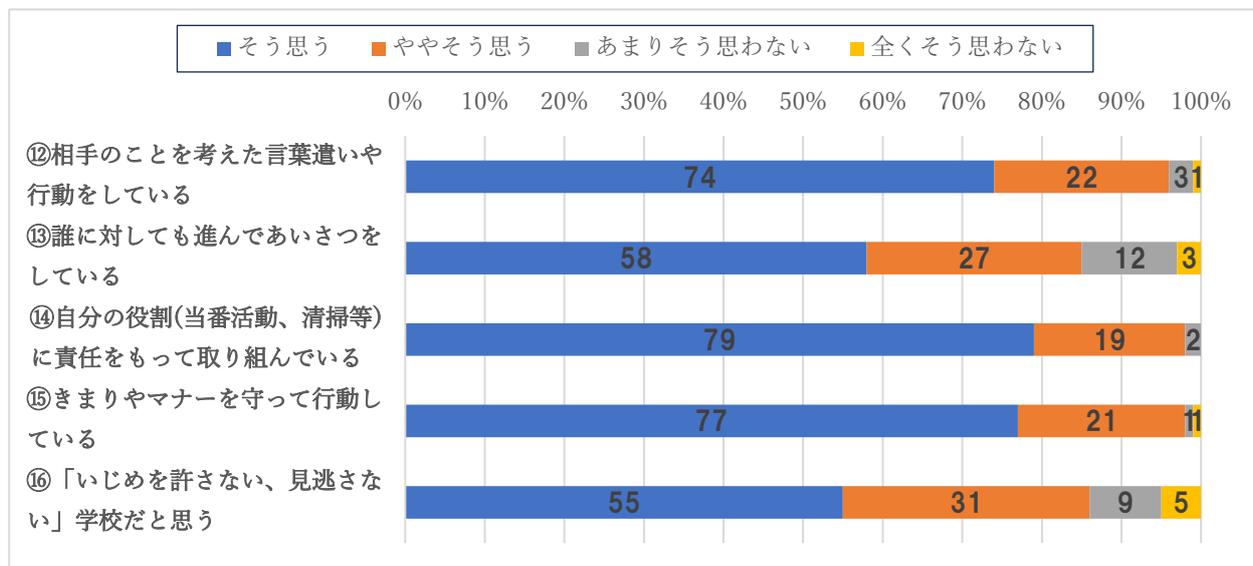


徳の分野について

毎月の学校生活アンケートから、生徒のいじめや人権に関わる意識の高まりを感じています。道徳科の授業を中核とし、いじめ見逃しゼロスクール集会をはじめとする学校行事や生徒会活動等を通じて、自己有用感を高めたり、思いやりのある言動について深く考えさせたりしていきます。

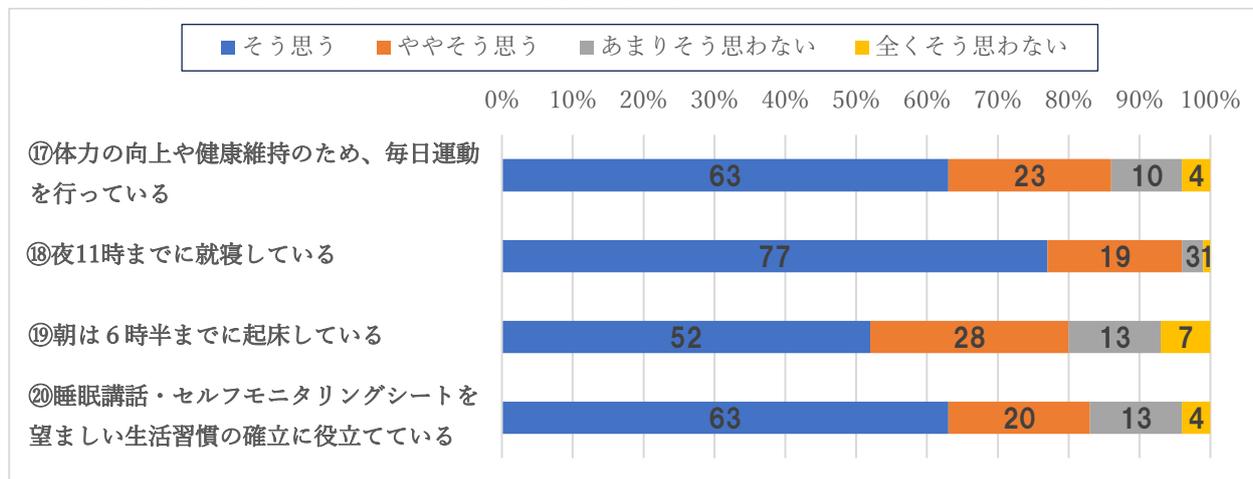
また、⑬～⑮の結果から、身に付けさせたい資質・能力「挨拶、返事、がまん、時間、後

始末」の中で、当番活動に責任をもって取り組むがまん強さや、時間や後始末等のきまりよさは、肯定的評価の割合がいずれも98%と高評価でした。2学期は、あいさつ励行の取組を充実させていきます。



体の分野について

生徒アンケート⑰は、「そう思う」と答える割合80%以上を目指しています。2学期は体育の授業で、5種目程度のサーキットトレーニングを取り入れるなどの体力づくりを行います。また、⑱については目標値75%以上を超える結果となりましたが、⑲は学年が上がるごとに数値が下がる結果となりました。睡眠モニタリング週間の結果をフィードバックし、保護者の協力を得ながら生活習慣の改善を図っていきたいと思います。



当校では、学校評価を活用して、保護者や地域の皆様の思いや願いを受け止め、学校の伝統や地域の環境を生かしながら、生徒の「生きる力」の育成に努めております。

今年度も、定期的開催される学校運営連絡協議会でのご意見はもちろんのこと、学校行事や地域での会合など、様々な場面で皆さまからいただく直接の声をしっかりと受け止め、学校運営に生かしてまいります。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。